

## 水痘（水ぼうそう）ワクチンの接種を希望される方へ

～定期接種対象年齢以外の方（任意接種）用

釧路赤十字病院

水ぼうそうにかかると、基本的には1週間程度の経過で治癒することがほとんどですが、重症な合併症を発症し、入院加療を必要とする場合があります。ワクチンをうけると、水ぼうそうの発病や重症化のリスクを下げるだけでなく、ワクチンをうけたくてもうけることのできない妊婦さんや免疫不全患者等に感染を広げないという効果もあります。また、水ぼうそうの発病リスクを下げることにより、将来の帯状疱疹発症のリスクを下げることに繋がるとも考えられています。

近年、免疫が少ない人、また子供の頃にワクチンをうけていない人や回数が少ない人等（現在は2回接種ですが、過去には1回のみ接種だった時期があります。）の流行が懸念されています。そこで、免疫が少ない人、ワクチンをうけたことがない（もしくは1回しかうけていない）方は、重い合併症を防ぐとともに、ワクチンをうけたくてもうけることのできない妊婦さんや免疫不全の患者さん等に感染を広げないためにも、ワクチンをうけることが強く進められています。

過去のワクチンに関しては、ご自身の母子手帳による確認が正確ですが、手元にない方もいらっしゃると思います。そこで当院では以下の内容を確認の上、ワクチンをうけるかを  
ご本人に決めて頂いております。

※他ワクチンを同時にうけることも医師が特に必要とみとめた場合は可能とされていますが、当院は現在成人では実施しておりません。

### 【ワクチンをうけるかどうかの選択方法】

#### 1. 母子手帳を手元にお持ちの方

##### 1) 水ぼうそうワクチンを2回うけた記録が残っている

→ワクチンをうける必要はありません

（なお、ワクチンを2回うけても免疫ができない方や低下してしまう方もいます。ご心配な方は抗体の値を測定することもできます。

※1種類の抗体を調べるには4,020円（税別）の自己負担が発生します。

##### 2) 水ぼうそうワクチンを1回うけた記録が残っている

→ワクチンを1回うけることをお勧めします

## 2. 母子手帳を手元にお持ちでない方

### 1) 抗体の値を測定する

(※1種類の抗体を調べるには4,020円(税別)の自己負担が発生します。

結果が出るまでには1週間程度時間がかかるため、受診が複数回必要です。)

→①低い値であれば、ワクチンをうける

②高い値であれば、ワクチンをうける必要はありません

### 2) 抗体の値を測定しないでワクチンを2回うける

(※抗体の値を測定するには、自己負担が発生し、また結果が出るまで時間がかかります。渡航予定等にてお急ぎの方は抗体の値を測定しないでワクチンをうけることも可能です。日本ワクチン産業協会から出版されている予防接種に関するQ&Aには「抗体が陽性の成人にワクチンを接種しても特に問題がない」ことが明記されています)

抗体の値を確認して決定することが推奨されますが、必要性が高い場合はその限りではないとされています。しかし、少ないとされていますが、ワクチンによる副反応は全くない訳ではありません。下記の内容を理解した上でご判断下さい。

## 【ワクチンをうける際の留意事項】

### 1. ワクチンをうけることができない人

- 1) 妊娠をしている女性および妊娠している可能性がある女性は水ぼうそうワクチンをうけることができません。水ぼうそうワクチンをうけた後は少なくとも 2 カ月の避妊が必要です。万が一、ワクチンをうけた後に妊娠がわかった場合は、かかりつけの産婦人科の先生にご相談ください。
- 2) ワクチンをうける 3 カ月以内にガンマグロブリン（血液製剤の一種で、重症の感染症の治療などに使われます）の注射あるいは輸血をうけたことがある人は、免疫が十分にできませんのでワクチンをうけることを延期する必要があります。また、大量のガンマグロブリンの注射をうけたことがある人は、6 カ月程度延期する必要があります。
- 3) 生ワクチン（麻しん風しん混合、麻しん、風しん、BCG、水ぼうそう、おたふくかぜ、黄熱ワクチンなど）の後は中 27 日以上、不活化ワクチン（ヒブ、小児用肺炎球菌、インフルエンザ、四種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ）、三種混合（百日咳、ジフテリア、破傷風）、二種混合（ジフテリア、破傷風）、不活化ポリオ、日本脳炎、A 型肝炎、B 型肝炎、狂犬病、成人用肺炎球菌ワクチンなど）の後は中 6 日以上、間隔をあける必要があります。

水ぼうそうワクチンに限ったものではありませんが、

- 4) ワクチンをうける直前の体温が 37.5℃以上であった人
- 5) 重い急性の病気にかかっている人
- 6) 水ぼうそうワクチンに含まれる成分（接種医におたずねください）でアナフィラキシーという重いアレルギー反応を起こしたことがある人
- 7) 接種医がうけない方が良いと判断した場合には、ワクチンをうけることができません。

### 2. ワクチンをうけるときに注意が必要な人（ワクチンをうけるには、かかりつけの先生と相談する必要があります）

- 1) 先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、血液、脳神経、発育発達の病気、悪性腫瘍など何らかの病気がある人
- 2) これまでの予防接種で 2 日以内に発熱がみられた人、またはアレルギーを疑う症状（全身の発疹やじんましんなど）がみられた人
- 3) これまでにけいれんを起こしたことがある人
- 4) これまでに免疫機能に異常（感染症によくかかったり、感染症が重くなったりすることがあります）があると言われたことがある人
- 5) 水ぼうそうワクチンに含まれる成分（接種医におたずねください）でアレルギーを起こすおそれのある人

- 6) 薬や食べ物でアレルギーを疑う症状（全身の発疹やじんましんなど）がみられた人
- 7) 接種当日の体調が普段とちがう人
- 8) 家族や周りで最近1ヵ月以内に麻しん、風しん、水ぼうそう、おたふくかぜにかかった人がいる場合
- 9) 最近1ヵ月以内に何か病気にかかった人

### 3. 水ぼうそうワクチンの効果

水ぼうそうワクチンを1回接種することによって90%以上の人が免疫を獲得しますが、近年80%台という研究結果も報告されています。2回接種の効果に関しては、国内ではまだ研究が少ない段階ですが、免疫が明らかに高くなったという報告があります。

### 4. 水ぼうそうワクチンの副反応

水ぼうそうワクチンの主な副反応は、接種局所の発赤・腫脹、発熱、発疹です。その他稀にワクチンをうけた直後から翌日にかけて過敏反応（発疹、じんましん、紅斑、かゆみ、発熱等）が現れることがあります。

水ぼうそうワクチンに限ったことではなく、ワクチン全般で言われることですが、稀にワクチンをうけた後30分以内にアナフィラキシーという重いアレルギー反応や、血管迷走神経反射による顔色不良、気分不良、血圧低下や失神を認める方がいますので、ワクチンをうけた後は少なくとも30分間、ワクチンをうけた医療機関などで背もたれのある椅子に座って様子を観察しましょう。

### 5. その他注意すること

※健康なワクチンをうけた者が発症した水ぼうそうや、帯状疱疹が二次感染した例はほとんどないと言われています。むしろ、ワクチンをうけていない家族が自然に感染し、そこから妊婦さんが感染する方がリスクが高いと考えられます。

※予診票はこれまでの様子を知るための重要な情報ですので、正しく記入しましょう。

※ワクチンをうけた当日は入浴可能ですが、接種部位を清潔に保ち、はげしい運動をひかえ、体調をよく観察しましょう。もし、何か気になる症状がみられた場合は接種医に相談しましょう。

H30年6月作成